



# 監督署だより

ゼロ災トライアル特集号

平成28年11月21日より平成29年2月28日までの期間を瀬峰労働基準監督署版「ゼロ災トライアル100」と称し、管内の多くの事業場にご参加いただき、期間中における労働災害防止のため、日頃の安全衛生活動の見直しや職場の点検、リスクアセスメントなどの取組を展開しました。

平成29年3月11日までに瀬峰労働基準監督署に達成報告をいただいた事業場を紹介するとともに、期間中の取り組み状況報告、ゼロ災トライアル100に関するご意見を一部を紹介いたします。

平成28年度 ゼロ災トライアル100達成事業場(公表承諾事業場のみ紹介)

【製造業】※業種の区分は、監督署におけるシステム登録上のものです。

参加No.	事業場名
4	株式会社チューオー若柳工場
5	ソニーストレージメディア・アンド・デバイス株式会社豊里サイト
7	株式会社宮城県食肉流通公社
9	株式会社ワンワールド
17	ヤマカノ醸造株式会社
19	株式会社東北イノアック若柳工場
22	ナブコトート株式会社
23	細倉金属鋁業株式会社
29	豊田合成東日本株式会社
35	株式会社只野製作所
39	有限会社アール・コマ
43	トヨテツ東北株式会社
44	株式会社若柳タムラ製作所
46	エスビー食品株式会社宮城工場
48	ジオマテック株式会社金成工場
49	ジオマテック株式会社金成テクノセンター
51	株式会社日本東北製作所
65	株式会社渡辺商事
70	デクセリアルズ株式会社なかだ事業所
75	エコロ・プラント株式会社

【土石採取業】

31	東北石材工業株式会社
----	------------

**【建設業】**

6	有限会社岡田組
10	東北七県配電工事(株) 築館事業所
14	株式会社佐々貞土建
15	有限会社高定左官
16	株式会社高正建設
28	有限会社米谷建設
30	株式会社及川工務店
32	株式会社大伸建設
37	株式会社千葉正工務店
41	有限会社後藤工業
53	有限会社大柳電気
54	野口建設株式会社
58	有限会社小野寺土建
60	株式会社野口重機
64	大目建設株式会社
69	株式会社渡辺工務店
91	工藤建設株式会社
93	株式会社佐々木建設

**【道路貨物運送事業】**

36	株式会社薬師運送
55	一乗梱包運輸株式会社

**【貨物取扱い業】**

42	配達興産 高橋敏満
----	-----------

**【商業】**

66	イオンスーパーセンター株式会社 イオンスーパーセンター佐沼店
----	--------------------------------

**【接客娯楽業】**

82	株式会社いしこし
----	----------

**【清掃業】**

45	株式会社清建
----	--------

**【その他の事業】**

8	一般財団法人東北電気保安協会佐沼事業所
---	---------------------

## アンケート「ゼロ災のために取り組んだ方法など」(一部抜粋)

「ゼロ災トライアル参加証」を事務所前に掲示し従業員全員に意識を持たせるように致しました。安全点検については始業前点検、月次点検の実施、KY活動については1日2回の実施(午前・午後)を行い何か問題があればミーティングにて報告し注意や是正を致しました。パトロールに関しては当社の社長と安全管理者と担当者2名で巡視を行い安全作業に努めました。

安全宣言として当社では「日々のチェックの積み重ね、みんなの努力で無災害!!」を掲示、社員の皆さんに声がけしました。更に冬期の転倒災害防止の取組として(積雪、凍結時の転倒防止のポイント10ヶ条も提示しました。

1, トップ(工場長)による決意表明と参加証掲示による啓蒙2, 安全パトロールの実施(11/29、12/27、1/27、2/28)3, リスクアセスメント活動の実施(12/21、2/28)4, フォークリフト安全運転講習の実施(2/28)

「ゼロ災トライアル100」に参加したことを周知させる為、参加証を掲示し、工場一体で目標に立ち向かうということを意識付けさせた。

安全衛生委員会や全体朝礼(ともに毎月実施)、並びに職場ごとの朝礼や会議において達成に向けた呼びかけを行ったほか、各職場8か所の掲示板へ「ゼロ災参加証」「達成までのカウントボード」を設置し全社を挙げて取り組みを行いました。

一人作業は行わず必ず先輩社員と二人三脚での作業を行い、危険ポイント等の指導を行った。標識等を各所に取付け、重機の作業範囲には近づかないように指導した。

全員に「安全行動宣言」を書いてもらい、毎月、自己評価をして頂いた。安全バッジの着用。ポケテナシの安全唱和の実施。全職場で毎月KYTの実施。

「急がず・あせらず・心にゆとりのある仕事をしよう!」を職場内に掲示し、従業員に対して毎週月曜日の朝礼終了後に「ゼロ災宣言」呼称を実施し、啓蒙活動を図りました。

「家で待つ 家族を胸に 今日ゼロ災」を安全宣言スローガンとし、朝礼時に社員全員で唱和しました。現場だけでなく家庭のことも仕事中に意識することでより一層安全に対する意欲が高められました。

過去の事故実例等を活用した勉強会を実施して繰り返し型の災害防止に努めた。又、交通安全協会よりDVDを借用して安全運転の勉強会を実施して事故防止に努めた。

参加証の掲示、重点課題摘出及び計画書作成、全従業員に対し進捗状況報告などの周知を行った。リスクアセスメントの実施、安全教育の実施、安全パトロールと安全点検の実施を行った。

冬季期間中の構内での凍結転倒防止に早朝従業員交替での除雪融雪を実施しました。また工場内では食品製造で床が濡れた状態で滑りやすい事から常に水切りを重視し実行、転倒事故防止に努めた。

管理職・職員の安全意識を高め事故防止に努めた。・管理職が朝会、終会での「安全一言」発言の実施。・職員から朝会・終会でのヒヤリ・ハットの報告。継続して事故防止に努めていく。

日常の安全管理で特に「重機、車両の接触事故防止」に力を入れ、安全確認の強化、誘導員の配置、車両停止位置表示、接触防止装置(エスカルパー)の取付けを行い、事故防止に努めました。

毎月、店安全衛生委員会の場で、売場の設備不具合等を聞き取りする場をもうけ、従業員全員の目で労働災害を防ぐ体制づくりを実施してまいりました。

・「ゼロ災トライアル100」参加にあたっての安全宣言。・教育用ポスターと安全マップの作成(H25の実績をもとにしたもの)。・啓蒙活動と教育の実施。・職場内、安全パトロールの実施。

・オリジナルポスター作成。・全社員が参加する月初の朝礼で「ゼロ災トライアル100」に参加することについて、また目的は取組について周知

経営者がキックオフ宣言し、全体的な取組ということを示した。日々の取組はKY・リスクアセスメント・朝礼により活動の浸透を図り作業中の声かけを密にした。月1回の安全衛生委員会、現場安全教育で中間報告を行い作業所除雪での取組を確認し全社で活動の進捗を共有した。

アンケート「この取組に関するご意見など」(一部抜粋)

毎年年末や年始にかけて大きい事故や災害型発しているのが今の世の中の現状です。それをひとつでも防ぐことはとても大切なことです。毎年このような企画があれば労働者側でも安全や災害に対し手も高い意識を持つのでとても良い企画だと思います。今後も今まで以上に安全活動を行い「安全はすべてに優先する」と言うことを忘れず行動したいと思います。

今回で3回の参加となりましたが、この時期にゼロ災トライアルがあることにより、マンネリ化している安全への意識が高まり、良い意味での緊張感が生まれ非常に良い企画だと思っています。

地域の事業所と一緒にゼロ災ということに取り組むことは改めて労働災害に気を付けようという気持ちになれて良い試みだと思います。

「ゼロ災トライアル100」キャンペーン期間は、寒さが厳しく、年末年始を含め多忙なため、集中力が欠けたり風邪などで体調を崩したり、凍結路面での転倒災害なども起きやすい時期です。瀬峰監督署のキャンペーンに応募したことで、協力会社を含めて全社員の意識の高揚を図り、おかげさまで目標を達成することができました。

安全意識高揚の為に、来年度も引き続き「ゼロ災トライアル」の実施を要望します。

昨年もチャレンジさせていただきましたが未達におわり、今年こそはという決意を持ち、社長を先頭に全従業員が一丸となり取り組むことができました。引き続きこのような取り組みを行っていただければと思います。

回を重ねることにより社員の防災意識が高くなっているように感じられ、職場全体が良い傾向になっています。冬場のみでなく他の季節でも行ってはいかがでしょうか。

100日ゼロ災期間での目標設定と、各自としても目標達成が意識できる程度の期間であり、非常に良い取り組みだと思います。

・参加することにより安全の意識が高まった。今後も労働災害の防止に瀬峰署管内の企業が一体となって参加することが良いと思う。

例年、11月～2月に企画しておりますので、冬場増加傾向となる災害にポイントをしぼって、具体的な取り組みをしていただくようなものにしても良いのではないかと思います。是非、また参加させていただきます。

繁忙期に全員が共通の安全目標を持って作業にあたれた。弊社の安全宣言は特に基本的な事項の確認であり、忙しい時に最も疎かになりやすい事項を日々確認できたのは良かった。トライアル100は終了するが、引き続き無事故無災害を継続する為に、安全管理に努めていきたい。

労働災害ゼロを達成し、安全な職場作り維持する事で労働者が安心かつ安全で働きやすい職場環境作りに繋がる事と思っております。

・労働災害防止の重要性の認識を深め「安全第一」を基本にトップ全労働者が一丸となって取り組む事が大変良いと思います。

夏場の作業環境と大きく異なる為、従業員一人一人の災害に対する意識を高める良い期間になったと思います。作業場の働く環境づくりを改めて考える良い機会になりました。

「ゼロ災トライアル100」に参加することで、毎年ひとつのテーマを掲げ、全員でそのテーマを真剣に取り組むことにより目標を達成することができました。今後もひとつのテーマのつみかさねにより、無事故、無災害を継続していきたいと思います。

労働災害に対する目標を立てる、全員で取組を実施する期間として大変良い取組と思います。

「ゼロ災トライアル100」の取組が県内では瀬峰管内だけであることにおどろいています。転倒災害のほとんどは客先でおこなることが多いので、ぜひとも、県内、東北六県にひろがってもらえればと思います。

災害予防について改めて考え、注意喚起する良い機会になりました。

冬季期間の災害リスクは建設業は高めになります。この時期にこのような取組があると災害の低下につながり助かります。